



巻頭特集

今日も
鈴鹿市のどこかで、
みんなを
笑顔にしています

ご当地 キャラクター 大集合!

生まれたきっかけは三者三様。
共通点はどこかかわいくて
親しみやすく、
街で見かける機会が多い、ということ。
一体、どうやって生まれたの？
どんな活動をしているの？
ベルブ編集室が迫ります。



バイクであいたいパレードでの子どもたちのコマ

障

がい者や高齢者の相談に乗るなど、悩み事を抱える人々と常に寄り添うこと、それが社会福祉協議会のミッション。その活動内容をもっとPRするため、同協議会はキャラクターの公募を昨年3月に始めました。鈴鹿市内の福祉協力校や鈴鹿市民に広く声をかけて集まった作品の数は、1651点。選ばれたのは、鈴鹿在住のデザイナー村田武大さんの作品「かりん



name

かりんちゃん

data

鈴鹿市社会福祉協議会キャラクター

甘いものが好きな妖精。
うれしいとお尻を振って
鈴を鳴らす。
口グセは「●●でシカ」

information

<http://www.suzuka-shakyo.or.jp/karin/karin.html>



1.うれしそうにかりんちゃんの話してくれた鈴鹿市社会福祉協議会の古市真弘さん 2.かりんちゃんグッズは、マウスパッドやクリアファイル、ピンバッジなど。これからも開発予定



1.すずか茶んの生みの親・樋口くんの卒業式には、すずか茶んも駆けつけた 2.すずか茶んの誕生から成長を見守ってきた、まちづくり委員長の江崎正峰さん(右)と副理事長の宇田真太郎さん

地

域活性化やまちづくりの推進というミッションを持つ青年会議所にとつて、「どうしたらより多くの市民を巻き込めるのか」は、長年の課題でした。もつと鈴鹿のことを知って、そして愛してほしい。そんな思いを伝えるメッセージャーとして3年前に誕生したのが、「すずか茶ん」。市内の小中学



校を中心に公募され、881枚におよんだ作品から選ばれたのは、当時小学4年生だった樋口陽介くんが描いた「お茶と鈴が好きで、少し怖い」というもの。飯野高校デザイン科の浜口翔さんが丹念にデザインし、その目を引くキャラクターの全貌は、「第1回すずか元氣まつり」でお披露目されました。

独特の風貌からか、最初は子どもを泣かせてしまったこともありました。しかし、青年会議所のメンバーは「とにかく名前を覚えてもらおう」と市内のあらゆる祭りにすずか茶んを参加させ、徐々に打ち解けていったとか。最近では、イベントに参加すれば「すずか茶んだ！」と子どもたちは笑顔になり、写真撮影の行列がでるほどの人気者に。テレビやラジオからのオフア



すずか茶んグッズはクリアファイルやピンバッジ、うちわなどがある

name

すずか茶ん

data

鈴鹿青年会議所キャラクター

口グセは「●●っちゃ」。楽しいことが大好き。唇にさわるといいことがあるかも!?

information

<http://ameblo.jp/suzukajc/>



鈴鹿市企画財務部企画課の中村祐輔さん。子どものころからベルデイに親しんできた



©Tezuka Productions

name

ベルデイ

data

鈴鹿市公式
マスコットキャラクター

首に付けた鈴(ベル)と、鹿(ディア)が名前の由来。鹿のような大きな耳が特徴

information

http://www.city.suzuka.lg.jp/city/profile/gairyaku/index1_6.html

消防の出初式に参加するベルデイ。多くの人々の目を引くことで、鈴鹿市のPRキャラクターとしての地位を確立



鹿市が市制50周年を迎えた平成4年、記念事業のひとつとして鈴鹿市のキャラクターを策定することとなり、マスコットキャラクター、「ベルデイ」が誕生しました。新たなキャラクターに求められたのは、広く市民に愛されると同時に、鈴鹿市を市の内外にPRするシンボルとなること。そこで、動物のキャラクターを可愛らしく描くことに定評がある手塚プロダクションに制作を依頼、鈴と鹿をモチーフとしたキ

ャクターが生まれました。昨今のように、ご当地キャラクターがブームとなっていなかった時代ですから、先駆的な試みであり、ご当地キャラクター元祖のひとつともいえるでしょう。ベルデイの主なミッションは、鈴鹿市のPR活動。消防の出初式やバルーンフェスティバル、盆踊りや植木祭り、鈴鹿サーキットの「鈴鹿8時間耐久ロードレース」など数々のイベントに参加し、今年も半年で32回の出動実績を誇っています。

生まれてから20年ほど経っているため、鈴鹿市では抜群の知名度を誇り、ファミリー層を中心に親しまれてきました。ベルデイが持つ「のぼりに刻まれたのは、海の幸、山の幸、伝統工芸などがある鈴鹿市をアピールするため」の都市イメージキャラクター「さあ、きつとつと鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり」。自然を生かして文化を創造してきた鈴鹿市を、そのスカイブルーの体で強く印象づけています。